



生活クラブ生協「よ〜い どん！（市民事業寄付制度）」にエントリー（審査通過）し、しらこぼと笛、しらこぼと土鈴の制作・販売プロジェクトのための寄付を呼びかけるべく、同生協広報誌に載せていただくチラシを作成して送りました。

「よ〜い どん！（市民事業寄付制度）」は、地域の課題解決にチャレンジする団体や個人を生活クラブの組合員が寄付で応援する制度だそうです。

昨年度「うんとこしょー共に生きる介護人養成事業」で一緒に活動した生活クラブ生協越谷ブロック地域協議会の方からこの制度があるよと紹介を受け、願ってもないこととエントリーしました。

寄付もさることながら、NPO法人障害者の職場参加をすすめる会の活動、そして会として越谷の伝統工芸家・山崎さんとのコラボによるしらこぼと笛・土鈴の制作・販売に取り組む趣旨を広く発信する機会を得られることがとてもありがたいです。

9月下旬からのキャンペーン向けに今日世一揃で、絵付け作者たちの写真を撮影。

<p>PROFILE 山下 浩志</p>	<p>写真 NPO 法人障害者の職場参加をすすめる会事務局長の山下浩志です。誰もが共に働けるまちづくりは、伝統工芸や自然保護と一体こそ可能になると考えています。</p>	
<p>TITLE 『天然記念物しらこぼと笛と共に生きた埼玉のまちを再生しよう！ 伝統工芸家と障害者のコラボによる笛、土鈴の制作・販売の応援を！』</p>		
<p>●しらこぼとはさまざまな人が共に生き、共に働いた地域のシンボル。</p>		
	<p>埼玉県民と越谷市商の鳥として有名な天然記念物しらこぼは、童謡「はとぼっぼ」にも歌われ、1980年代までは県内のあちこちで見られました。しかし、その後激減。まちで見かける場といえは、ドバトがキジバトしかいなくなり、鳥でも2012年から生息状況調査を実施しています。しらこぼがいなくなった原因は、巣づくりの場だった畑が減少し、餌場だった農路が果樹移植や開墾されたためです。同じ時期、それまで養蚕や養蠶業、そして町工場などで共に働いていた多くの障害者達が職を失いました。</p>	
<p>しらこぼは、生活に身近な地域で、さまざまな人が共に働いていた時代のシンボルといえます。</p>		
<p>●ご存知ですか？ 郷土玩具「しらこぼと笛、しらこぼと土鈴」</p>		
<p>越谷で30の江戸職を復活させ、職人形組合の理事長も務めた山崎二さんが、1980年頃、郷土玩具として、しらこぼと笛、土鈴を制作しました。これまで公的行事の記念品や学校の授業で山崎さんが子どもたちに絵付けを教えるなどの形で、普及させてきました。</p>		
<p>一昨年、越谷市から地元で開催される人権展の記念品として注文があった際、高松にいられた山崎さんが当会の障害者達に絵付けを指導し、完成した300個が実業の方々の手に渡されました。</p>		
<p>●共に生きる地域めざし、笛・土鈴の制作・販売を応援してください</p>		
<p>このしらこぼと笛、土鈴を、ここ30年の都市機能縮小型から生活に根差した地域への分断型まちづくりに戻そうというメッセージを託したツールとして、普及させたいと思います。芸術型の職人や伝統工芸を愛し、小さな町工場を支援する地域であれば、障害者も生きづらさを抱える他の人々も、一緒に働けます。</p>		
<p>障害の有無、性別、程度に関わらず、誰もが自由に参加できる越谷のスペース・世一揃（よいしょ）で、山崎さん指導の下に、しらこぼと笛、土鈴の制作・販売をさらに行うための支援をぜひお願いします。</p>		
<p>★ オフィシャルFacebookで様々な情報をアップしています！ ★</p>		
<p>目標金額 10.7万円</p>	<p>1,000円以上寄付をいただいたお名前に、しらこぼと笛または土鈴を1個お贈りします。</p>	<p>facebookQR </p>
<p>1,000円が美術色の笛または土鈴（絵付け前）7個作れます。 3,000円が約100個購入または36通分のチラシ郵送が可能です。</p>		

